

記 載 例 (様式 2 a ~ 2 h)

- ・業績は英文と和文に分けて記載すること
- ・初期のものから年代順に記載すること
- ・本人には下線を付けるとこ
- ・それぞれの様式が1枚に収まらない場合、様式をコピーして追加記入すること
(すべてのページに業績目録、No.、氏名が表示されるように)
- ・No.については、様式2 aからの通し番号を記入すること

NO. _____

(様式 2 a)

業 績 目 録

(氏名)

著 書	
番 号	(単著) 著者、書名、総頁、発行所、発行地、発行年 (共著・分担執筆) 著者名、分担題目、書名、編者名、初頁～終頁、発行所、発行地、発行年
1	(単著) <u>華岡太郎</u> * : 「 <u>卵巣の内分泌学</u> 」 総406頁、診断と治療社、東京、1995
2	(分担執筆) Herman R, Freedman W, Monster AW and <u>Hanaoka T</u> *: A systematic analysis of myotatic reflex activity in human spastic muscle. In “New Development in Electromyography and Clinical Neurophysiology” (Ed.) Desmedt JE, pp 556-578, S Karger, Brussels, 1994

原 著	
(審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録などは含めない。)	
番 号	著者名、題名、誌名、巻、初頁～終頁、年
1	<u>華岡太郎</u> 、 <u>和歌浦花子</u> * : 糖尿病患者の色覚異常について. 糖尿病 33: 675-680, 1993
2	Wakaura H and <u>Hanaoka T</u> *: Sensory response of cortical neurons in the anterior ectosylvian sulcus, including the area evoking eye movement. Brain Research 575: 181-186, 1996

総 説	
番 号	著者名、題名、誌名、巻、初頁～終頁、年
1	<u>華岡太郎</u> * : 痛みの分子生物学ーペプチド発現と細胞性癌遺伝子. ペインクリニック 12:17-24, 1990
2	<u>和歌浦花子</u> *, <u>華岡太郎</u> : 動脈硬化巣におけるコラーゲンおよび関連酵素の分布. 動脈硬化 19: 601-604, 1991
3	<u>Hanaoka T</u> *, <u>Wakayama H</u> and <u>Minakata K</u> : Neurogenic control of cerebral circulation. Journal of Cerebral Blood Flow & Metabolism 29: 1655-1667, 2009

症 例 報 告

番 号	著者名、題名、誌名、巻、初頁～終頁、年
1	華岡太郎、南方熊夫、雑賀孫二*：聴性脳幹反応潜時の遅延を認めSIADHを合併した糖尿病性神経障害の一例. 糖尿病 35:837-842, 1995

学 会 発 表

(国際学会、国内学会に分けて記載する。国内学会は特別講演、シンポジウム、ワークショップのみ。国際学会は一般演題を含む。)

番 号	発表者名、演題名、学会名、場所、年
	(国際学会) *シンポジウム
1	Hanaoka T, Saika M and Minakata K: Expression and regulation of neuropeptides in rat facial motoneurons. VII International Symposium on Facial Nerve, Cologne, Germany, 1992 *一般演題
2	Hanaoka T, Saika M and Minakata K: Halothane constricts mesenteric artery transiently by releasing Ca ⁺⁺ from the sarcoplasmic reticulum. Annual Meeting of American Society of Anesthesiology, New Orleans, USA, 1992
	(国内学会) *シンポジウム
3	華岡太郎：Dynorphin(1-13)のモルヒネ鎮痛と耐性形成におよぼす影響. 第6回鎮痛薬オピオイドペプチドシンポジウム, 長崎, 1996

加 入 学 会 お よ び 社 会 に お け る 活 動

(主な学会名、役職名および学術雑誌の編集委員等を記入する。)

(加入学会)
○日本××学会 (平成17年4月～現在) 評議員 (平成24年4月～現在)
○和歌山▲▲学会 (平成18年1月～平成20年12月) 事務局責任者 (平成19年4月～平成20年12月)
○近畿■■学会 (平成22年4月～現在)
(学術雑誌の編集委員等)
○Deputy Editor Brain Res. (平成23年4月～平成25年3月)
(その他社会における活動)
○日本学術振興会◇◇委員会専門員 (平成21年12月～平成22年11月)